

資料編



本編と
同じくらい大事な
資料編

資料編 第1章

【防災マップ】

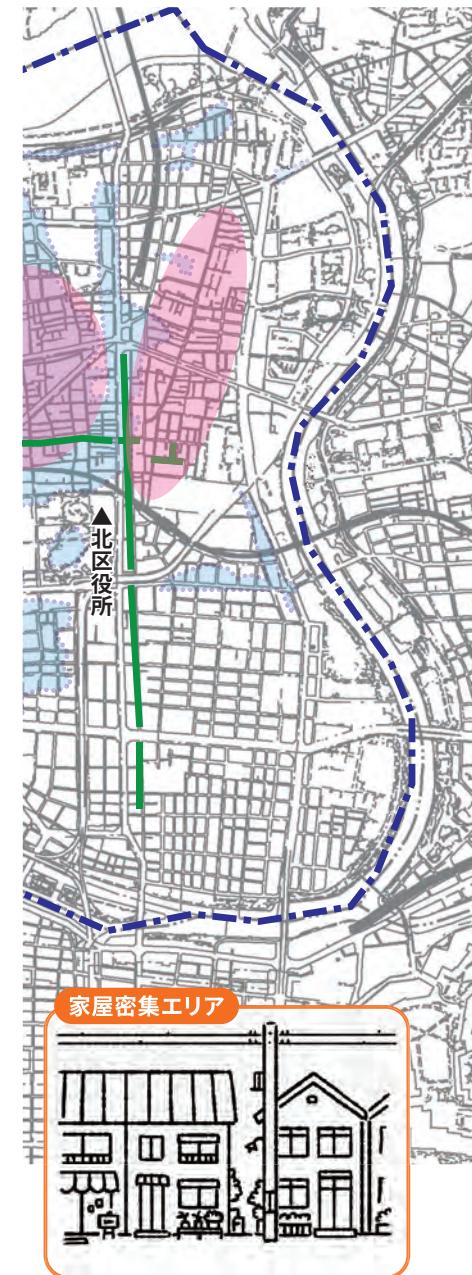
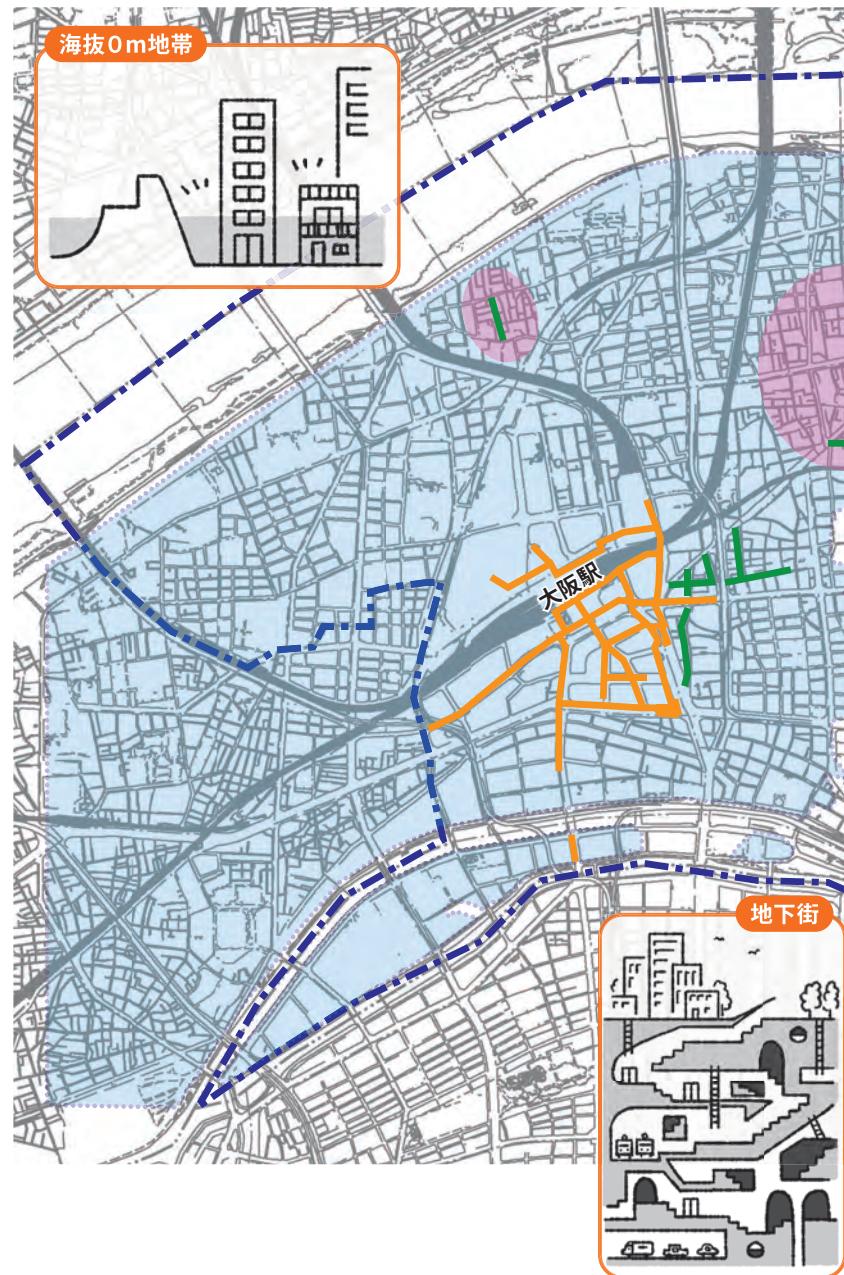
地域の特性や
防災拠点を確認しよう



- ① 地域別防災マップ p.157
- ② ハザードマップ p.177
- ③ 災害時避難所等施設リスト p.183

① 地域別防災マップ

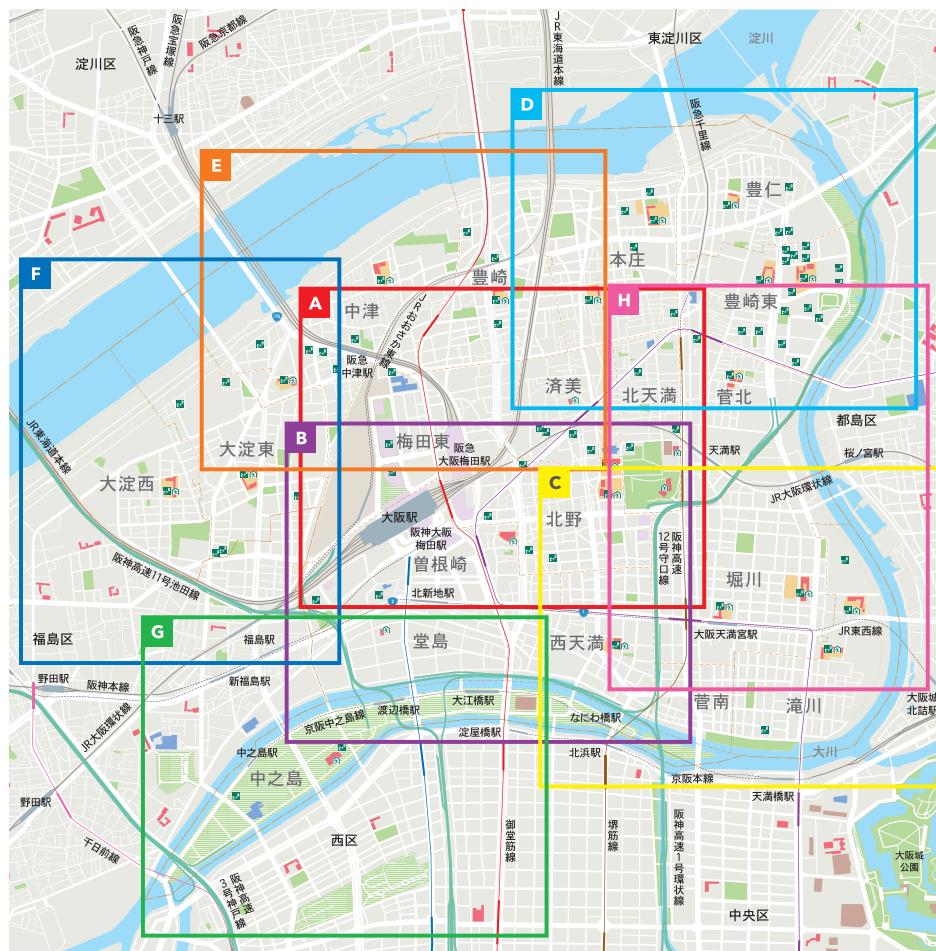
資料編



① 地域別防災マップ

エリア区分図

地域の災害時避難所を中心とする地域をAからHまでの地図に示しました。災害時避難所は、在宅避難をする人にとっても、食料などの物資や情報の拠点になります。



令和6年2月時点の情報です

◆ 使い方 ◆

- ①地図上で、自宅など日ごろいる場所の位置を確認しましょう。
- ②日ごろいる場所近くの一時避難場所や災害時避難所の場所を確認しましょう。
- ③一時避難場所や災害時避難所へのルートを考え、歩いてみましょう。
- ④ルート上の危険な場所を確認し、迂回ルートを考えましょう。

◆ 注意 ◆

災害時避難所などの施設指定は変更されることがあるため、北区役所ホームページなどで最新の情報を確認しましょう。

◆ 凡例 ◆



地域住民が自宅被災時に避難生活を送る場所

在宅避難者への食料など物資の配給や情報の拠点となる場所

災害時避難所 ⇒一覧 p.183



地震発生時などに一時的に避難する場所

[公園など(薄緑色/左)または災害時避難所併設の運動場など(黄土色/右)]

一時避難場所 ⇒一覧 pp.185-186



大規模な火災などから避難する場所

広域避難場所 ⇒一覧 p.184



津波・淀川氾濫時の緊急避難先

津波避難ビル

災害発生時、地域の医療を担う医療機関

災害医療協力病院 ⇒一覧 p.187

A



令和6年2月時点の情報です



B



令和6年2月時点の情報です



C

令和6年2月時点の情報です



D



令和6年2月時点の情報です



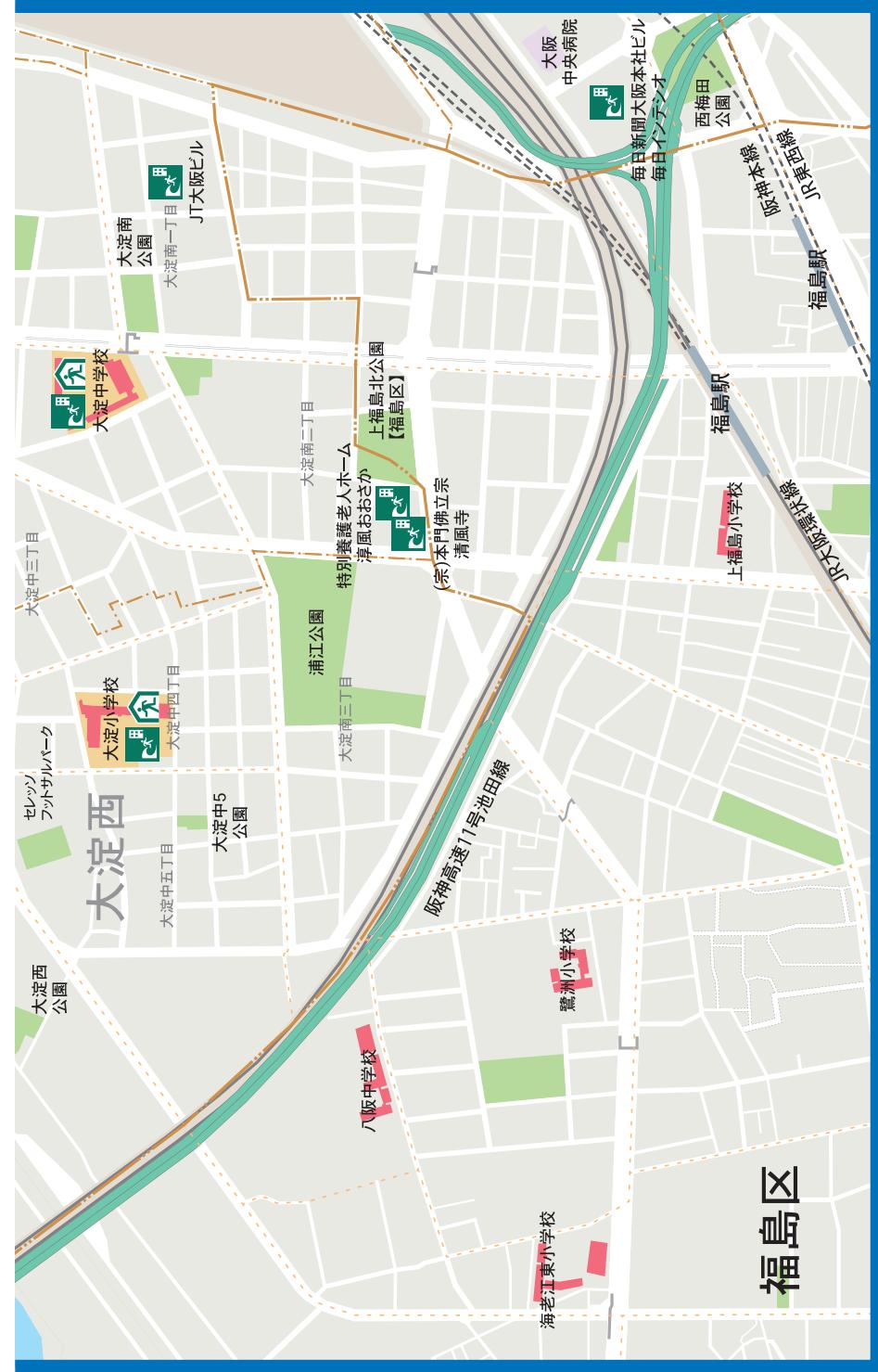


令和6年2月時点の情報です





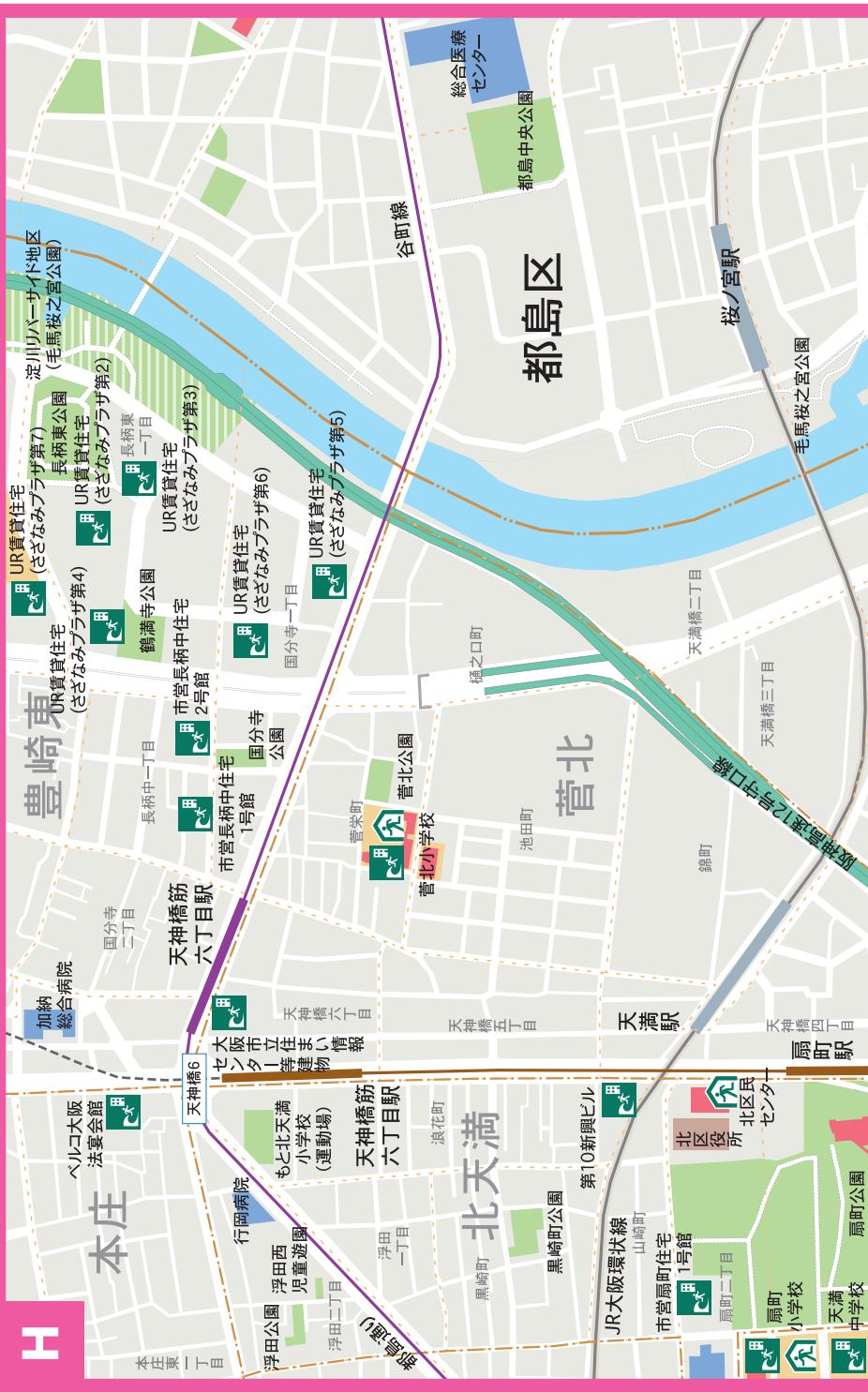
令和6年2月時点の情報です



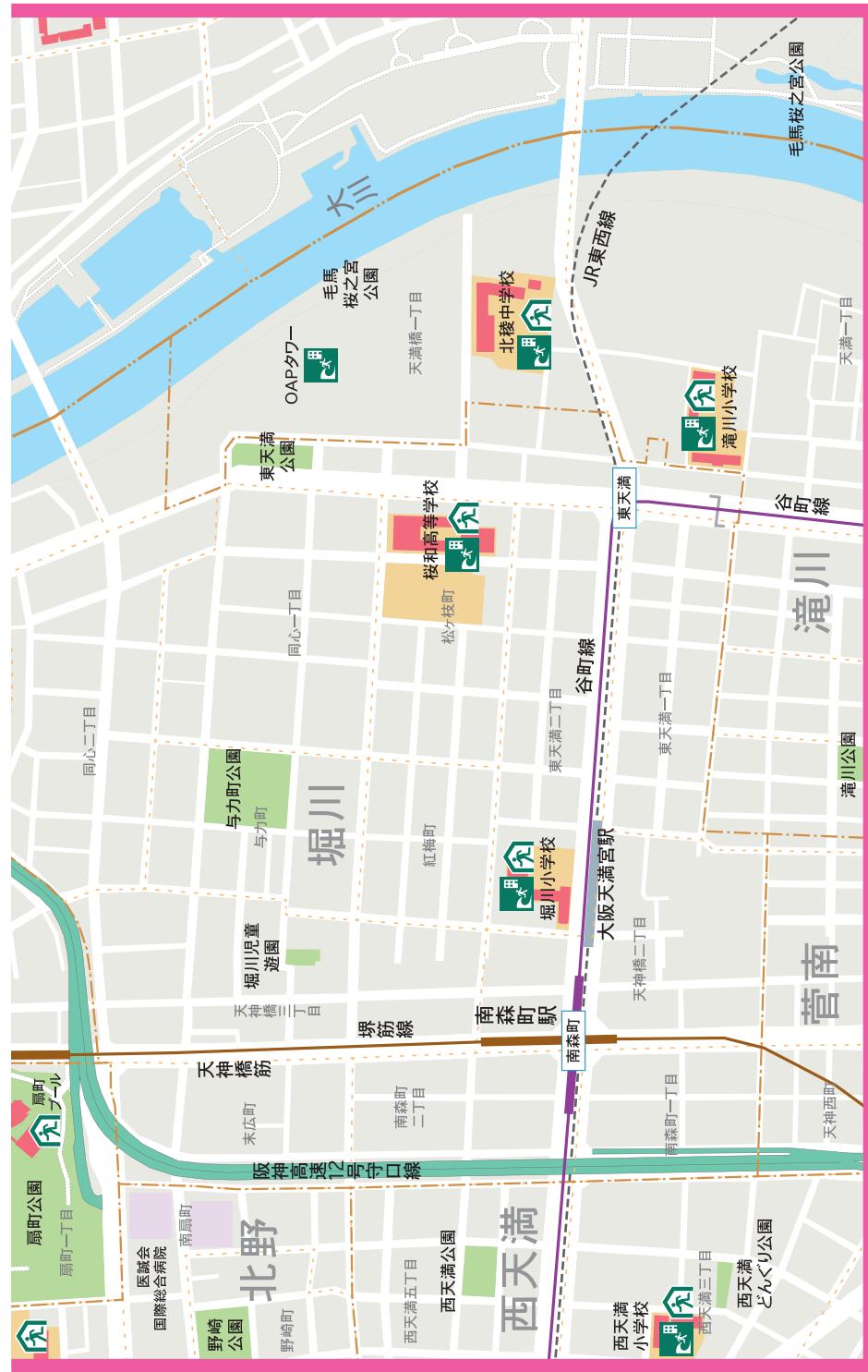
G

令和6年2月時点の情報です





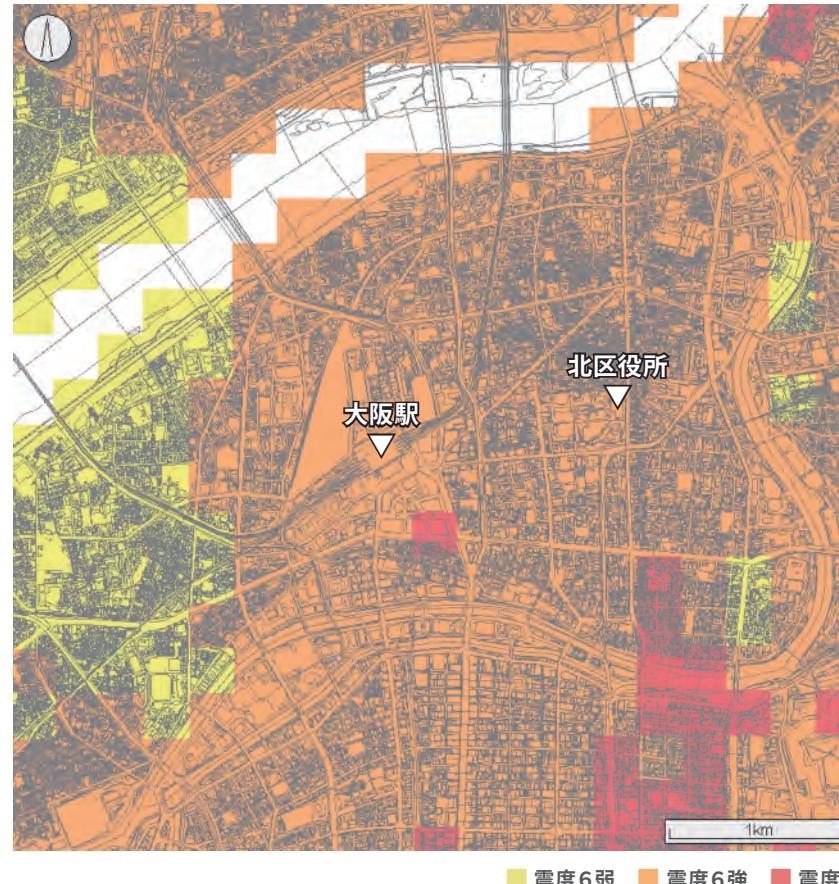
やべ隠書の証跡四つ印の苔跡



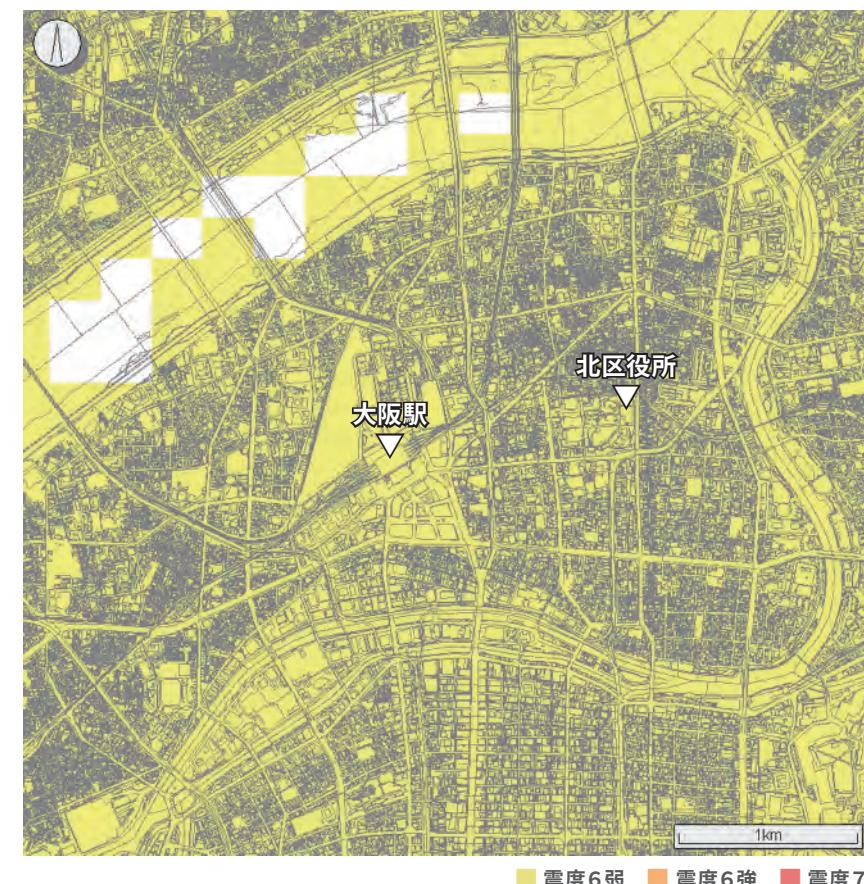
② ハザードマップ

震度分布予測図

上町断層帯地震



南海トラフ巨大地震



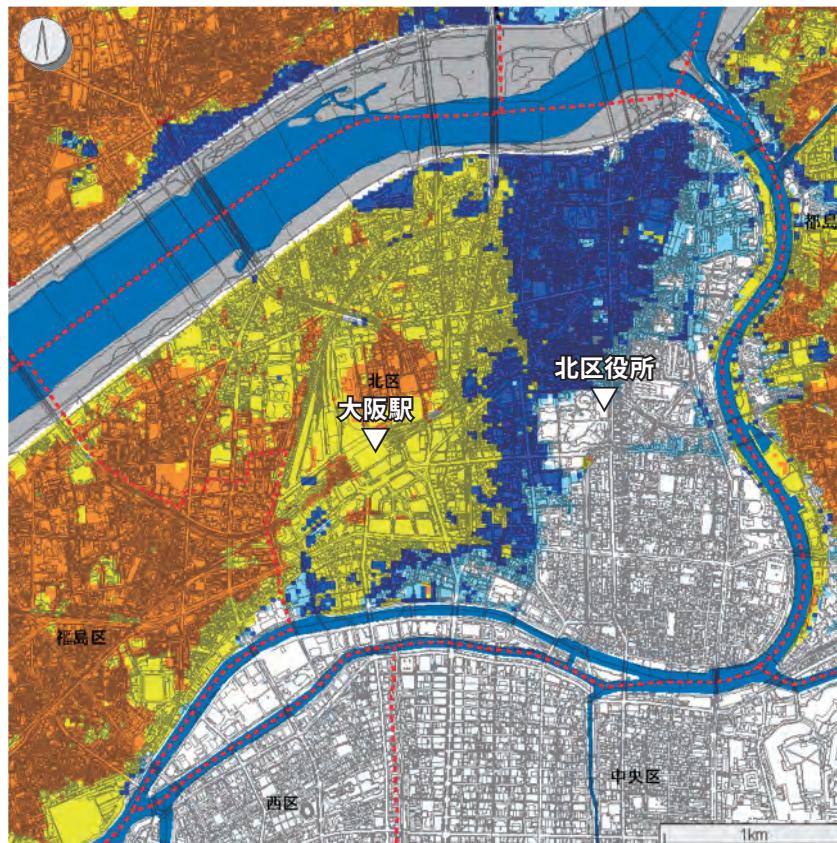
※この震度分布予測図は、地震の発生状況によって変わることがあります。

※この震度分布予測図は、地震の発生状況によって変わることがあります。

② ハザードマップ

===== 浸水継続時間図 =====

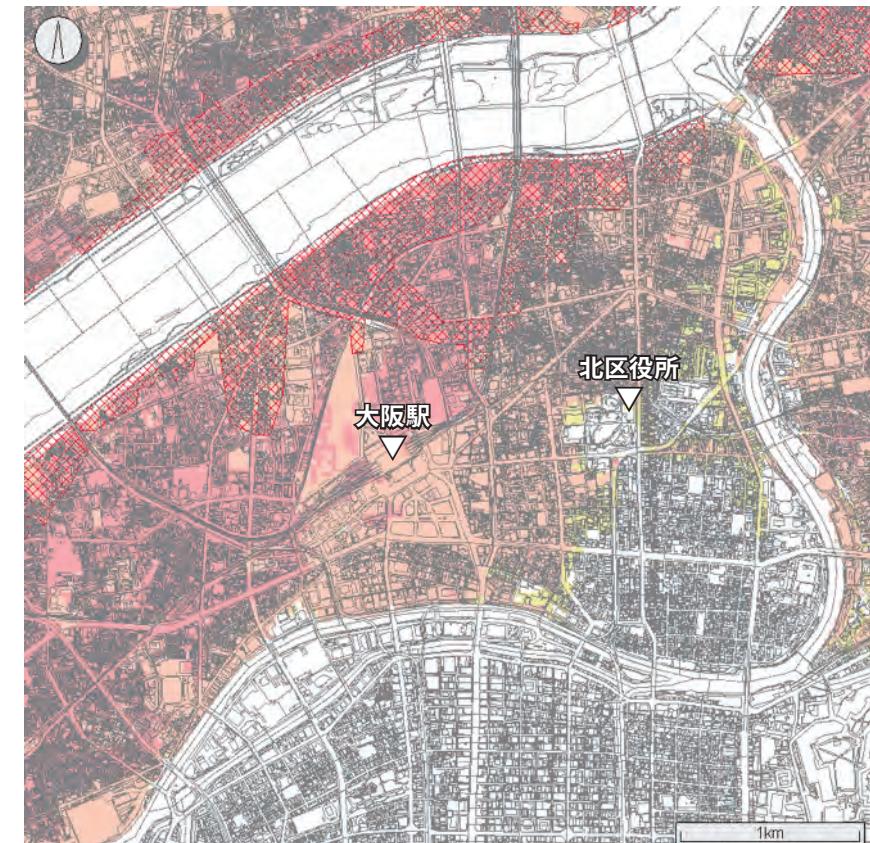
淀川氾濫



■ 12時間 ■ 24時間 ■ 72時間(3日間) ■ 168時間(1週間)

===== 浸水想定区域図 =====

淀川氾濫



■ 0.5m未満 ■ 0.5~3.0m ■ 3.0~5.0m ■ 5.0m以上
▣ 家屋倒壊等氾濫想定区域

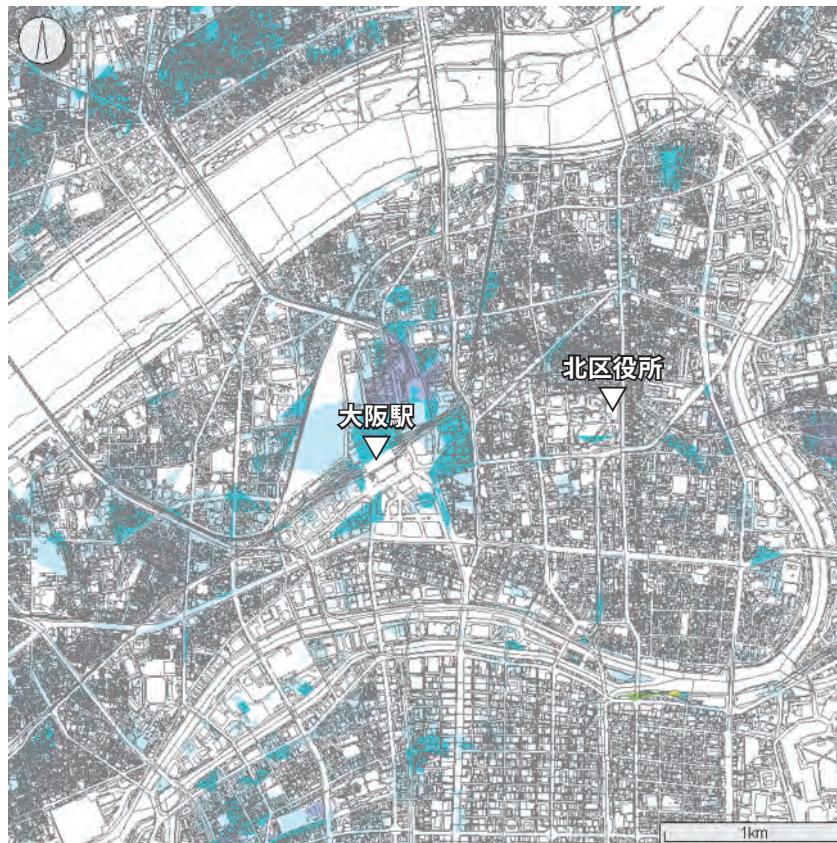
※この浸水継続時間図は、雨量や河川堤防の状況または排水施設の状況によって変わることがあります。

※この浸水想定区域図は、雨量や河川堤防の状況によって変わることがあります。

② ハザードマップ

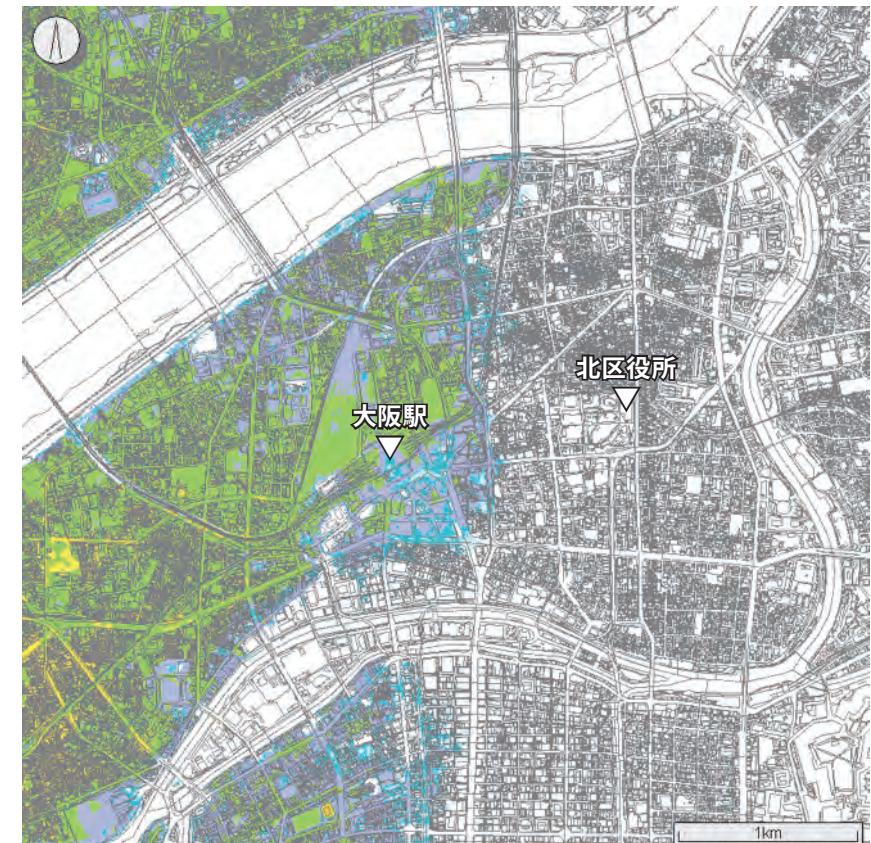
===== 浸水想定区域図 =====

内水氾濫



※この浸水想定区域図は、雨量や排水施設の状況によって変わることがあります。

南海トラフ巨大地震に伴う津波



※この浸水想定区域図は、津波の大きさによって変わることがあります。

③ 災害時避難所等施設リスト

災害時避難所

地域	津波 避難 ビル	災害時避難所	人口 (人)	受入可能 人数(人)
滝川	○	滝川小学校	8,096	1,050
	○	北稜中学校		1,507
堀川	○	堀川小学校	21,073	1,487
	○	北稜中学校		(1,507)
	○	桜和高等学校		3,790
西天満	○	西天満小学校	5,783	1,050
菅南	○	西天満小学校	3,912	(1,050)
梅田東	○	扇町小学校	2,116	(1,410)
北天満		北区民センター	5,050	190
	○	扇町小学校		1,410
	○	天満中学校		1,685
		扇町プール		356
済美		済美福祉センター、済美中崎町コミュニティホール	8,135	140
	○	扇町小学校		(1,410)
	○	天満中学校		(1,685)
菅北	○	菅北小学校	10,022	1,257
曾根崎	○	天満中学校	522	(1,685)
		堂島地域集会所、堂島・中之島老人憩いの家		64
		曾根崎コミュニティセンター		77
北野	○	天満中学校	2,819	(1,685)
堂島		堂島地域集会所、堂島・中之島老人憩いの家	775	(64)
中之島		大阪市立科学館	2,669	108
豊仁	○	豊仁小学校	8,394	1,208
	○	新豊崎中学校		1,441
豊崎東	○	豊崎東小学校	13,184	1,581
	○	新豊崎中学校		(1,441)
本庄	○	豊崎本庄小学校	13,753	1,285
	○	豊崎中学校		1,337
豊崎	○	豊崎小学校	7,643	1,059
中津	○	中津小学校	12,287	1,308
	○	大阪YMCAインターナショナルスクール		834
大淀東	○	大淀中学校	8,037	1,299
大淀西	○	大淀小学校	5,106	1,119
全 体		139,376	26,642	

※人口は、令和2年国勢調査。受入可能人数は、災害時避難所一覧(北区／令和6年1月16日時点)より。カッコ内は再掲数字であり、全体合計の算定に含まない。

令和6年2月時点の情報です

福祉避難所

施設名	所在地
中津特別養護老人ホーム 喜久寿苑	大淀南2-2-51
特別養護老人ホーム 北野よろこび苑	神山町15-12
特別養護老人ホーム 淳風おおさか	大淀南2-5-20
デイサービスセンター 淳風おおさか	大淀南2-5-20
特別養護老人ホーム 藤ミレニアム	本庄西2-6-15
藤デイサービスセンター	本庄西2-6-15
大阪整肢学院	中津2-2-22
複合介護施設 平成曾根崎苑	曾根崎1-1-20

※福祉避難所は、災害時に、高齢者や障がい者など、一般の避難所生活において特別な配慮を必要とする方々を対象に開設される避難所です。福祉避難所への避難が必要と思われる要支援者も、まずは災害時避難所へ避難してください。

広域避難場所

広域避難場所	避難可能 人 数 (人)	避難できる災害の種類 (○:避難可、×:避難不可)			
		大規模火災	地震	津波	淀川氾濫
うめきた (一部床止中)	44,000	○	○	×	×
鞠公園	52,000	○	○	×	×
中之島	366,000	○	○	○ (河川敷遊歩道、中之島西公園を除く)	×
淀川リバーサイド地区	64,000	○	○	○ (河川敷遊歩道を除く)	×
下福島公園地区	37,000	○	○	×	×

③ 災害時避難所等施設リスト

一時避難場所

一時避難場所	避難可能人數(人)	避難できる災害の種類 (○:避難可、×:避難不可)		
		地震	津波	淀川氾濫
滝川小学校 (運動場)	2,250	○	○	—
堀川小学校 (運動場)	2,400	○	○	—
西天満小学校 (運動場)	1,250	○	○	×
もと北天満小学校 (運動場)	1,500	○	○	×
扇町小学校 (運動場)	4,700	○	○	×
菅北小学校 (運動場)	1,650	○	○	×
豊仁小学校 (運動場)	1,600	○	○	×
豊崎東小学校 (運動場)	2,000	○	○	×
豊崎本庄小学校 (運動場)	1,650	○	○	×
豊崎小学校 (運動場)	1,600	○	×	×
中津小学校 (運動場)	4,150	○	×	×
大阪YMCAインターナショナルスクール(運動場)	2,550	○	×	×
大淀小学校 (運動場)	2,550	○	×	×
北稜中学校 (運動場)	3,700	○	○	—
天満中学校 (運動場)	5,500	○	○	—
新豊崎中学校 (運動場)	7,000	○	○	×
豊崎中学校 (運動場)	15,100	○	○	×
大淀中学校 (運動場)	6,000	○	×	×
桜和高等学校 (運動場)	3,555	○	○	—
菅南幼稚園 (運動場)	240	○	○	—
扇町公園	35,114	○	○	—
南天満公園	14,890	○	○	—
西天満公園	1,737	○	○	—
東天満公園	1,260	○	○	—
滝川公園	4,001	○	○	—
菅北公園	1,283	○	○	×
与力町公園	6,026	○	○	—
野崎公園	3,900	○	○	×
黒崎町公園	1,260	○	○	×
浮田公園	593	○	○	×

※北区内の一時避難場所は、原則として24時間避難可能

※「—」は避難先として想定されていないことを示す

令和6年2月時点の情報です

一時避難場所	避難可能人數(人)	避難できる災害の種類 (○:避難可、×:避難不可)		
		地震	津波	淀川氾濫
中津中央公園	2,934	○	×	×
堀川児童遊園	682	○	○	—
浮田西児童遊園	182	○	○	×
毛馬桜之宮公園(毛馬公園)	38,068	○	○	×
鶴満寺公園	1,763	○	○	×
本庄公園	9,894	○	×	×
大淀中公園	3,774	○	×	×
豊崎南公園	941	○	×	×
長柄公園	2,922	○	○	×
大淀南公園	1,786	○	×	×
中津東公園	1,850	○	×	×
豊崎北公園	2,160	○	×	×
大淀北公園	1,728	○	×	×
国分寺公園	923	○	○	×
本庄川崎公園	903	○	○	×
本庄小公園	1,743	○	○	×
浦江公園	14,348	○	×	×
豊崎西公園	3,956	○	×	×
中津南公園	1,891	○	×	×
豊崎中公園	881	○	×	×
豊崎東公園	5,314	○	×	×
中津公園	10,977	○	×	×
大淀西公園	1,566	○	×	×
本庄南公園	511	○	×	×
長柄東公園	8,707	○	○	×
長柄西公園	1,086	○	○	×
大淀中5公園	468	○	×	×
もと曾根崎小売市場(跡地)	822	○	×	×
西梅田公園	4,480	○	×	×
西天満どんぐり公園	664	○	○	×
セレッソフットサルパーク	2,709	○	×	×
梅田ガーデン(2階外部廊下)	1,102	○	×	×

※北区内の一時避難場所は、原則として24時間避難可能

※「—」は避難先として想定されていないことを示す

③ 災害時避難所等施設リスト

災害医療協力病院

医療機関名	所在地 電話番号(昼)
大阪府済生会中津病院	芝田2-10-39 06-6372-0333
医療法人行岡医学研究会 行岡病院	浮田2-2-3 06-6371-9921
医療法人渡辺医学会 桜橋渡辺病院	梅田2-4-32 06-6341-8651
公益財団法人田附興風会医学研究所 北野病院	扇町2-4-20 06-6312-1221
住友病院	中之島5-3-20 06-6443-1261
社会医療法人協和会 加納総合病院	天神橋7-5-15 06-6351-5381

その他関係先

区役所

施設名	所在地 電話番号
北区役所(防災)	扇町2-1-27 06-6313-9734

警察署(110)・消防署(119)

施設名	所在地 電話番号
曾根崎警察署	曾根崎2-16-14 06-6315-1234
大淀警察署	中津1-5-25 06-6376-1234
天満警察署	西天満1-12-12 06-6363-1234
北消防署	茶屋町19-41 06-6372-0119

令和6年2月時点の情報です

資料編 第2章

【マニュアル】

災害が起こってから
役立つ知恵や工夫



- 1 応急対応** p.191
- 2 情報収集・連絡** p.197
- 3 避難生活** p.201
- 4 役立つもの** p.205
- 5 支援制度** p.211

① 応急対応

===== 消火の方法 =====

消火器の使い方

- ① 黄色い安全ピンを上に引き抜く
- ② 火元に向けてかまえる
- ③ レバーを握り火に吹き付ける



天ぷら油の消火

消火作業を開始する前に(困難であれば消火作業後すぐに)ガスを遮断しましょう。
最も手近で効果的な消火手段は「消火器」です。

ATTENTION
燃えている油に水をかけると
水が一気に沸騰して水蒸気になり、
はずみで油が飛び散るため危険

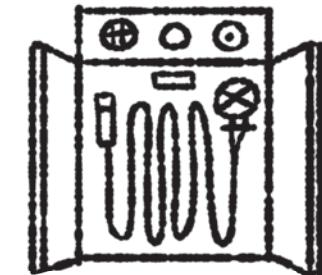


屋内消火栓の使い方

1号消火栓の使い方を例に説明します。
※易操作性1号消火栓や2号消火栓は
1人で操作できます。

- ① 扉を開き、起動ボタンを押す
- ② ホースを伸ばし、ノズルを火元に向ける
- ③ パルプ全開、放水開始

POINT
ホースの折れ、ねじれに注意し、
放水中はノズルを手放さない



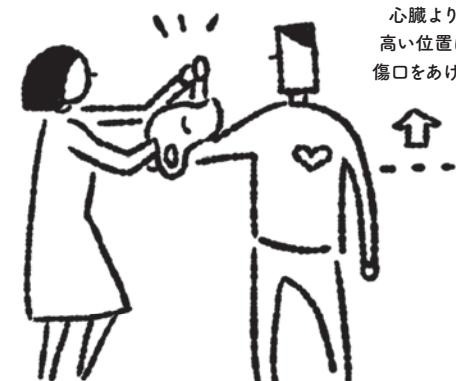
① 応急対応

けが人の応急手当

直接圧迫法による止血

ガーゼや清潔なハンカチなどをあてて強く押さえる

POINT
感染を防止するため、押さえるときはポリ袋などで手を覆う



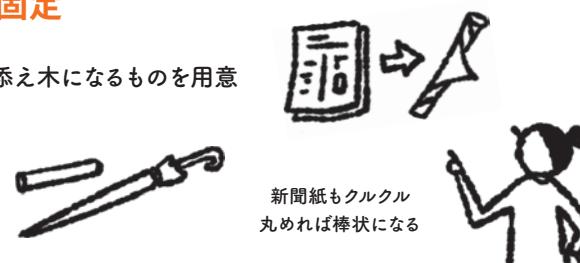
止血ができたら

包帯で固定する
包帯がない場合はラップやハンカチが代用できる

骨折やねんざの固定

① 折れた骨を支える添え木になるものを用意

POINT
新聞紙やラップの芯、傘などで代用できる



② 折れた骨の両側の関節と添え木を布などで結び固定



腕の場合

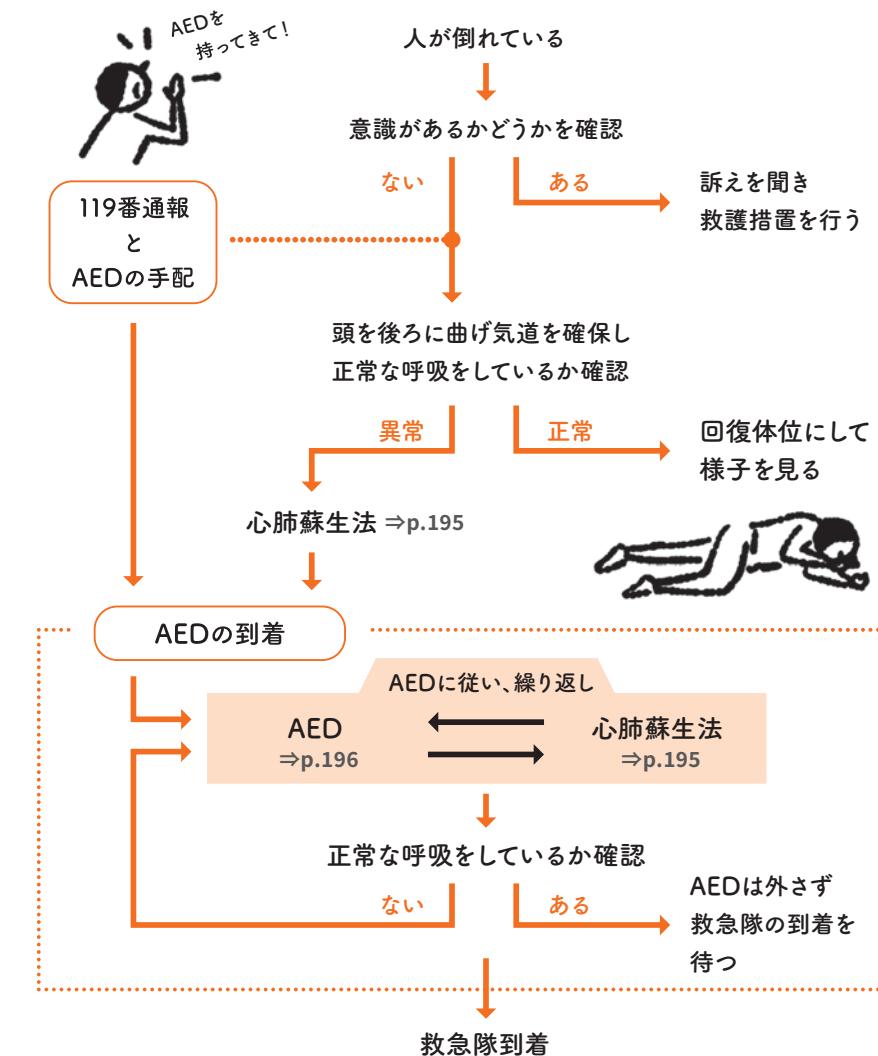
三角巾やポリ袋を使って固定した腕を首からつって安定させる



救命処置

基本的な流れ

要救護者の様子を観察しながら連続的な流れで行うことが大切です。



① 応急対応

心肺蘇生法

AEDが近くにない場合は、AEDの到着まで心肺蘇生法を施します。

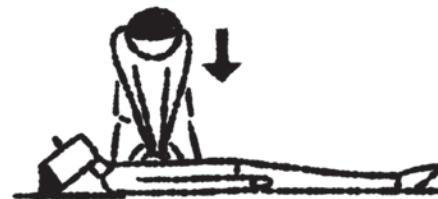
① 呼びかけへの反応と呼吸の有無を確認



反応がなく呼吸がない場合

気道を確保し、手順②へ

② 胸骨圧迫1分間に100回



※人工呼吸と組み合わせる場合は、
胸骨圧迫30回と人工呼吸2回を
繰り返し行う



AEDが到着したら、速やかにAEDによる処置を開始する

AEDの使い方

音声メッセージに従って操作を進めれば、誰でも簡単に使用できます。

① AEDに電源を入れて 電極パッドを貼り、 診断を待つ



② 「電気ショックが必要」という 音声メッセージがあった場合のみ、 電気ショックのボタンを押す



② 情報収集・連絡

防災アプリケーション

大阪市防災アプリ

左上隅の≡マークから安否情報、配信を受ける災害情報、避難計画作成のための情報など、自分用の条件を登録して利用しましょう。訓練にも利用して備えましょう。



NHKニュース・防災アプリ

右上隅の✿マークから自分用の災害情報にアクセスしやすくなるようセットしておきましょう。日ごろからの備えに活用できるページもあります。



令和6年2月時点の情報です

防災関連ウェブサイト

サイト名	URL
内閣府防災情報	http://www.bousai.go.jp/
総務省消防庁	http://www.fdma.go.jp/
気象庁防災情報	http://www.jma.go.jp/jma/menu/menuflash.html
国土交通省防災情報提供センター	http://www.mlit.go.jp/saigai/bosaijoho/
財務省地震保険	http://www.mof.go.jp/financial_system/earthquake_insurance/jisin.htm
日本赤十字社大阪府支部	https://www.jrc.or.jp/chapter/osaka/
おおさか防災ネット	http://www.osaka-bousai.net/pref/
大阪府警察	http://www.police.pref.osaka.jp/
大阪市危機管理室	http://www.city.osaka.lg.jp/kikikanrishitsu/
大阪市消防局	http://www.city.osaka.lg.jp/shobo/
大阪市建設局降雨情報	http://www.ame.city.osaka.lg.jp/pweb/
大阪市ボランティア・市民活動センター	https://ocvac.osaka-sishakyo.jp/
大阪市北区役所	http://www.city.osaka.lg.jp/kita/
大阪市北区役所Facebook	https://www.facebook.com/kitakuyakusyo.osakashi
NHKそなえる防災	http://www.nhk.or.jp/sonae/
(財)自治体国際化協会 災害時多言語情報	http://dis.clair.or.jp/

アプリケーションの選択

防災アプリケーションを使うと、災害情報・避難情報・交通情報・安否情報などの情報を得ることができます。いろいろな種類があるため、行政や防災NPOなど信頼できるサイトで調べて試してみて、自分に合ったものを使いましょう。災害時にアクセスが集中してつながりにくくなる地域機関の情報などが掲示されている可能性があります。

防災関連X(エックス)アカウント

アカウント名	ユーザーID
首相官邸(災害・危機管理情報)	@kantei_saigai
大阪市危機管理室	@kikikan_osaka
大阪市北区役所	@kitaku_osaka

② 情報収集・連絡

災害時の連絡

災害用伝言ダイヤル(171)の使い方

被災地域の加入電話や携帯電話などの電話番号をキーとして、安否など伝言の録音・再生ができます。



「171」をダイヤル

◎ 録音の時

- ① 「1」をダイヤル
 - ② 自分の番号をダイヤル
 - ③ 録音する
-
- ① 「2」をダイヤル
 - ② 相手の番号をダイヤル
 - ③ 再生する



POINT

災害用伝言ダイヤル(171)で使用する電話番号を互いに決め、事前に共有しておく

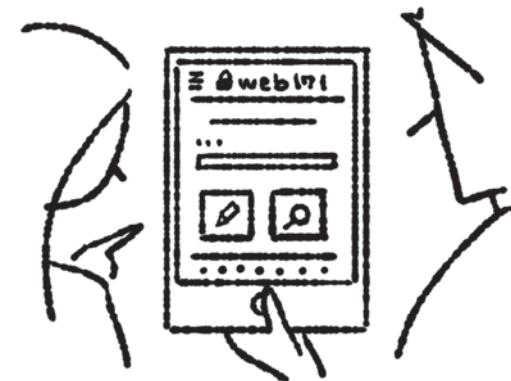
災害時のみに提供されるサービスですが、無料体験日(毎月1日・15日ほか)が設定されています。ぜひ体験しておきましょう。

災害用伝言板(web171)

普段使っている電話番号をキーとして登録や登録内容の閲覧、追加伝言登録ができます。災害用伝言ダイヤル(171)同様、毎月1日・15日ほか無料体験日が設けられています。

災害用伝言板(web171)

[web171]で検索!
<https://www.web171.jp/>



災害用伝言サービス

携帯電話会社が提供するサービスで、会社によって使い方が少しずつ異なります。
あらかじめ確認しておきましょう。



③ 避難生活

===== トイレ =====

簡易トイレのつくり方

— 用意するもの —



45L程度のごみ袋

- 1個あたり1~2枚使用
- 1人あたり7日間で
15枚程度必要



新聞紙

- 1個あたり2~3枚程度使用
- 1人あたり7日間で朝刊2日分程度必要
- し尿の水分を吸わせて保管時の水分漏れを防ぐ
- 新聞紙の代わりに、紙おむつを代用してもよい

POINT

水分を固める
「吸水ポリマー」があるとよりよい

汚物の保管方法

- ① 消臭効果があるものを上からかける



猫砂

消臭剤

おがくず

- ② 内側のごみ袋だけ取り出し、空気を抜いて口を固くしばる



POINT

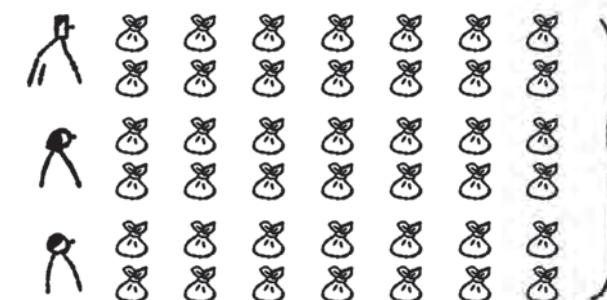
衛生対策のため、臭いと水分が漏れないように密閉できる
バケツなどで保管する

簡易トイレの必要量を把握しておこう

簡易トイレの交換は、大便なら1回、小便なら3回程度が目安になります。
トイレの回数は1人1日3~6回といわれています。

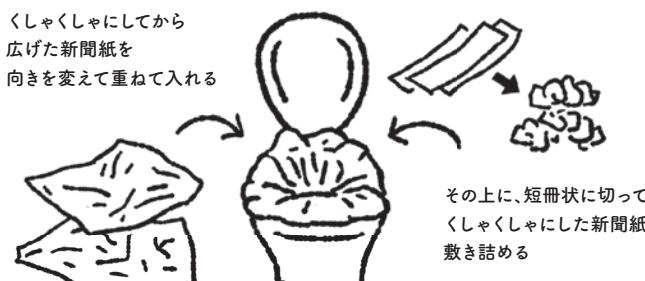
例えば 1人1日で簡易トイレを2個使うとすると…

1日目 2日目 3日目 4日目 5日目 6日目 7日目



3人家族の場合
簡易トイレは
7日間で

42
個



③ 避難生活

===== 水と食事 =====

水の運び方—ポリ袋を使う

① 段ボールやバケツにポリ袋をかぶせる

② 水を入れ、ポリ袋の口をしばって運ぶ

階段の上り下りがある場合

リュックの中にポリ袋を2枚重ねに入れ、
その中に水を入れて運ぶと便利

ATTENTION
段ボールを使う場合は、底や側面を
ガムテープでしっかりと補強して使う



節水の工夫

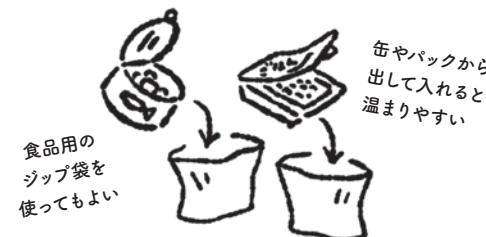
食器や紙食器にラップをかぶせて使うと、
洗浄水の節約になります。



食事の温め方—ポリ袋を使って湯せん

① おかずやご飯などをそれぞれ
耐熱性のポリ袋に入れ口をしばる

② 鍋の中のお湯にいれて
弱火で温める



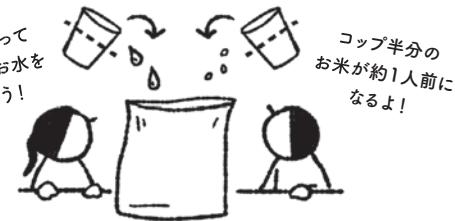
ポリ袋でご飯を炊く方法

【材料(1人前)】

米1/2カップ

水1/2カップ

コップなどを使って
同じ量のお米とお水を
計って入れよう!



【つくり方】

- ① 耐熱性のポリ袋に米と水を入れ、
袋の空気を出して口をしっかりとしばる
- ② お鍋のお湯に入れて落しつたをして
25~30分ゆでる

POINT

米は洗わなくても1時間ほど
つけておくとぬか臭さが少なくなる

カセット式コンロのボンベは
1本で約60分

1日1本使うとすると1週間で
7本のガスボンベが必要になります。



④ 役立つもの

===== ポリ袋 =====

スーパーのレジ袋から大きなごみ袋まで、ポリ袋があると色々な用途に活用できます。耐熱性のポリ袋があれば、料理などにも活用できます。

例えば 簡易おむつをつくる

用意するもの

大きめのレジ袋
清潔なタオルや布



レジ袋の持ち手の端と両脇を切って開き、
その上に清潔なタオルなどをたたんでおく

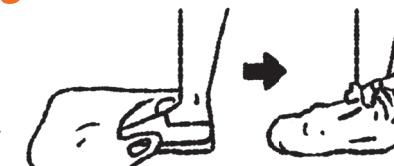
- ① タオルや布の上に赤ちゃんの
お尻がくるように寝かせ、
上側になった持ち手部分を
赤ちゃんのおなかの前で結ぶ

- ② 下側の持ち手部分を
お尻からおなかの前に入れ込み、
余った部分を下に折り返す



例えば 足やくつを水から守る

- ① くつの上からポリ袋をかぶせる
- ② くるぶしあたりで持ち手を結ぶ



他にも

✓ 骨折やねんざの固定 ⇒ p.193

✓ 止血するときの手袋代わり ⇒ p.193

✓ 簡易トイレをつくる ⇒ p.201

✓ 水を運ぶ ⇒ p.203

✓ 食事を温める ⇒ p.204

===== 布 =====

大判のハンカチやスカーフ、毛布など、大きめの布が役に立ちます。

例えば 患部を保護する ⇒ p.193

用意するもの 大判ハンカチ、スカーフ → 包帯の代わりや止血後の患部の保護に

例えば マスクの代わり

用意するもの

大判ハンカチ → 鼻や口元を覆って緊急のマスクに



例えば 寒さをしのぐ

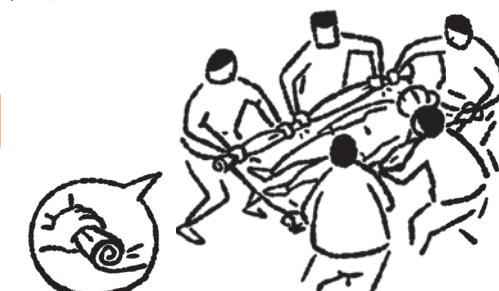
用意するもの スカーフ、毛布 → 一時避難時など、屋外で長時間待機するときに

例えば けが人を運ぶ

用意するもの

毛布 • 破れなどがない丈夫そうなもの

両側から毛布を巻き込んで
外に引っ張りながら担架のように
持ち上げ、4~6人で運ぶ



他にも

✓ 止血するときの当て布 ⇒ p.193

✓ 骨折の固定 ⇒ p.193

④ 役立つもの

===== 新聞紙 =====

新聞紙も工夫次第でいろいろなことに役立ちます。

例えば **寒さをしのぐ**

POINT

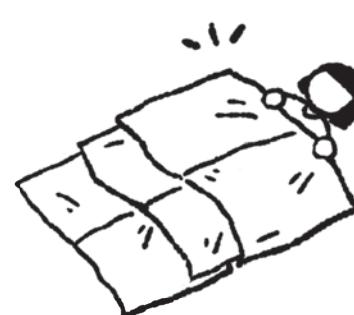
空気の層をつくって暖かくする

上着と下着の間に新聞紙を入れる

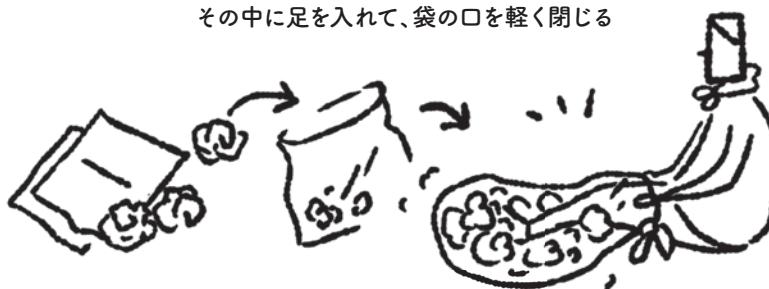


新聞紙の上から
ラップを巻くと、
保温性が高まる！

掛布団の代わりにする



新聞紙をくしゃくしゃに丸めてごみ袋などに入れ、
その中に足を入れて、袋の口を軽く閉じる



他にも

✓ 骨折やねんざの固定 ⇒ p.193

✓ 簡易トイレをつくる ⇒ p.201

===== ウェットティッシュ =====

水が不足する被災時に、大変重宝します。

例えば **身体を清潔に保つ**

手の消毒や顔、首筋などを拭いて身体を清潔に保つ

例えば **歯を磨く**

水が使えなかったり、歯ブラシがない
状況では、ウェットティッシュで
歯を拭くだけでも衛生上効果がある



例えば **食器を拭く**

水が使えない状況のとき、
食器やお箸を拭いて汚れを落とす



例えば **マスクの代わり**

火災の煙や、粉塵の飛散がある場合、
鼻や口元にあててマスク代わりに



例えば **おしりふき**

専用のおしりふきがない場合に
代用できる

POINT

ウェットティッシュの代わりに、
赤ちゃんのおしりふきを
他の用途に使うこともできる

④ 役立つもの

===== ラップ =====

食品を包む以外に、いろいろなことに活用することができます。

例えば 患部を保護する ⇒ p.193

包帯の代わりに、止血後の患部を保護するときに使う



例えば 食器にかぶせて食事する ⇒ p.203

食器をラップで包んで使用すると、洗い物を減らすことができる



例えば 寒さをしのぐ ⇒ p.207

新聞紙をおなかに巻き、その上からラップを巻き付けると、体温を逃すことなく保温できる



===== ガムテープ =====

粘着性をいかして、いろいろなことに活用することができます。

例えば 飛散したガラスなどの掃除

粉々になったガラスなどをガムテープの粘着を使って、掃除する



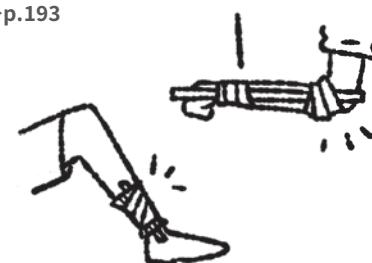
例えば 伝信用の貼り紙として使う

布ガムテープに油性ペンで伝言を書き、建物などに貼っておく



例えば 骨折やねんざの固定 ⇒ p.193

包帯の代わりに、患部を固定するときに使う



⑤ 支援制度

生活再建にかかる制度や手続き

状況	制度	概要
住宅が被害を受けた	罹災証明書	自然災害によって住宅が被害を受けた場合に住宅の被害程度を証明するもの。
	被災証明書	自然災害によって不動産、動産などに被害を受けた場合にその事実を証明するもの。
	応急危険度判定	建築士などの応急危険度判定士が、応急的に住宅や建築物が安全に使用できるかどうか判定する。判定結果は赤「危険」・黄「要注意」・緑「調査済」の3色のステッカーで表示される。
	災害見舞金	住宅の被害に応じて、見舞金を支給する。
住む場所を確保したい	市営住宅などの一時使用許可	市営住宅などの空き家を活用し、災害によって住宅を失った方に住まいを提供する。
	民間賃貸住宅の斡旋・協力要請	災害によって住宅を失った方のために、大阪市が不動産関係団体などに斡旋や協力の依頼を行う。
	応急仮設住宅	応急仮設住宅を建設し、災害によって住宅を失った方に住まいを提供する。
住宅の建て直し・修理したい	被災住宅の応急修理	住宅が半壊、半焼の被害を受けた場合、生活に必要な居室の応急修理を大阪府または大阪市が行う。
	災害復興住宅融資	住宅金融支援機構の災害復興住宅融資を受けてマンションを購入する際に、低利融資を行う。
災害による死亡やけが	災害弔慰金	災害により亡くなった方の遺族に対し、弔慰金を支給する。
	災害障害見舞金	災害により心身に著しい障がいを受けた方に対し、見舞金を支給する。
当面の生活資金や生活再建の資金が必要	義援金品の配分	被害の状況などに応じて、全国などから寄せられた義援金や義援品を配分する。
	災害援護資金の貸付	被害の程度や世帯の状況に応じて、災害援護資金の貸付を行う。
	生活福祉資金の貸付	所得の低い方や障がいのある方、高齢者の方で、災害により臨時に必要となった経費に対し貸付や相談支援を行う。
	市税の減免など	災害による被害の状況により、市税の減免または納税を猶予する。
	被災者生活再建支援金	災害により住宅が全壊するなど、生活基盤に著しい被害を受け、経済的に生活再建が困難な方に対し、支援金を支給する。

資料編 第3章

【事前の備え】

自分に合った
防災対策を考えよう



- 1 建物の安全 p.215
- 2 事前の備蓄 p.221
- 3 安否確認・避難 p.227
- 4 マンション単位での備え p.231

① 建物の安全

===== 建物の耐震性を確保する =====

建物の耐震性は、建てられた年数や構造などによっておおよそ判断することができます。新しい耐震基準が設定される前に建てられた建物*については、耐震診断を行い、必要であれば耐震改修を行うことが重要です。また、建てられた年数に関係なく、地震に弱い建物の形状も把握しておきましょう。
⇒地震に弱い建物の形状 p.232



- ① 建物が建てられたのは何年か調べる
- ② 建物は木造・鉄骨造か、それ以外の構造(鉄筋コンクリート造など)か調べる



- ① (新しい耐震基準前の建物)
耐震性に問題がないか耐震診断を行う
- ② (耐震性に問題がある場合)耐震改修を行う

*新しい耐震基準前の建物とは…

木造・鉄骨造は平成12年以前、それ以外の構造は昭和56年以前に建てられた建物

補助制度を活用する

大阪市には耐震診断や耐震改修設計・工事に対する補助制度があります。

▼耐震診断・耐震改修設計・耐震改修工事の相談窓口

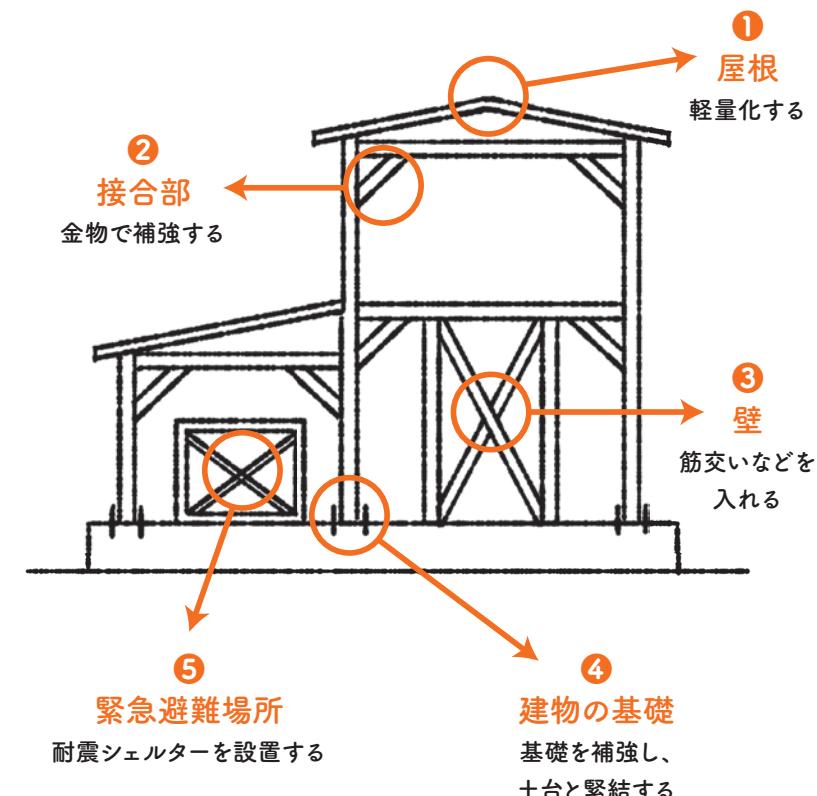
大阪市都市整備局耐震・密集市街地整備受付窓口

[業務受託者] 大阪市住宅供給公社(愛称: 大阪市住まい公社)

北区天神橋6-4-20 ☎ 06-6882-7053

木造建物の耐震性確保

平成12年以前に建てられた木造建物は、大規模な地震により被害を受ける可能性が高いため、構造部の補強など、対策をしておきましょう。



① 建物の安全

===== 住宅内の安全対策を行う =====

大きなゆれが発生した場合に、閉じ込められたりけがをしたりしないよう、住宅内の安全対策を行いましょう。

【合わせて読もう！】地震編第2章①命を守るための家具固定 p.029



- ① 自宅の中で一番安全な場所はどこか考える
- ② 自宅の中から玄関や出入り口までの複数の経路を考える
- ③ (水害の浸水想定区域で2階建て建物の場合) 屋根の上への避難方法を考える



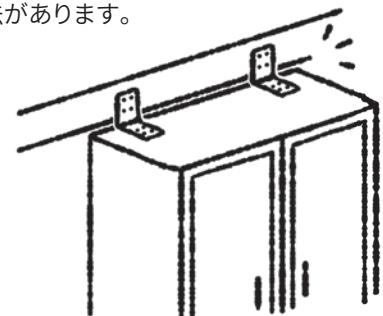
- ① 寝室や玄関までの通路に 家具など倒れやすいものを置かない
- ② 背の高いタンス、冷蔵庫などを 転倒防止器具で固定する
- ③ 食器棚のガラス扉や、窓ガラスに 飛散防止対策をする



- ① 一番安全な場所で「頭と身体を守る」 とっさの行動をしてみる
- ② 複数の避難経路で避難してみる (できない場合は図上で体験)

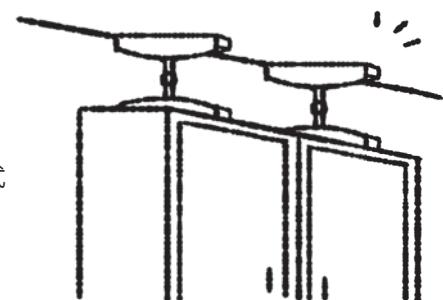
家具の固定方法

家具の固定方法には、大きく3種類の方法があります。



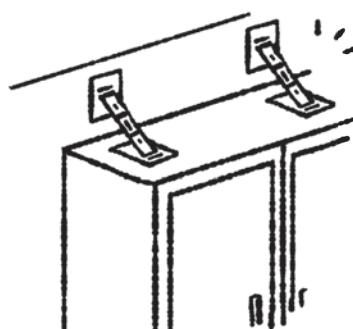
① 金具でしっかり固定

L型金具などで壁下地(柱、間柱、胴縁など)や付け鴨居に直接ネジ固定する。



② 天井との間につっぱり棒

家具の上部と天井との間にポール式器具(つっぱり棒)などをかませる。



③ スッパー やテープで固定

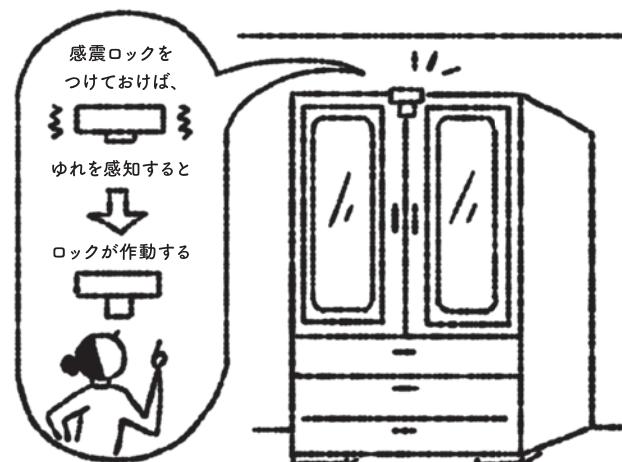
足元にストッパーを設置する、頂部や背部を粘着テープや固定ベルトなどで固定する。

POINT
複数の方法を併用するとより安定する

① 建物の安全

食器類の飛び出し防止

重い食器類はできるだけ腰より低い位置にある引き出しに収納しましょう。また、棚に感震ロックや扉ひらき防止ストッパーなどを取り付けると普段の開け閉めが簡単です。書棚の本の滑り出し防止には、落下防止テープも有効です。



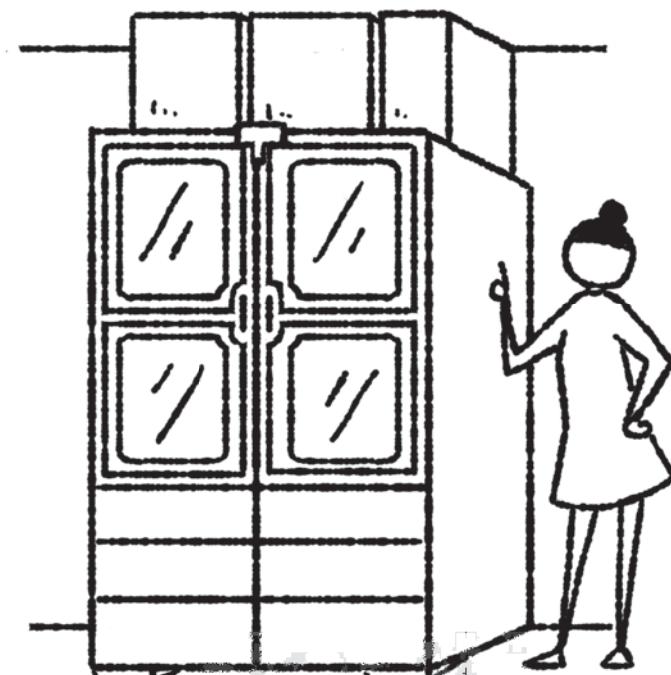
窓ガラスの飛散防止

窓ガラスの飛散防止には、ガラス飛散防止フィルムを貼る、ガラスを割れにくいものに替えるなどがあります。ガラス飛散防止フィルムを貼る方法は安価で簡単に実施できます。



家具扉ガラスの飛散防止

ガラス扉がある家具は、家具の転倒だけでなく、収納している食器や書籍などがぶつかり扉のガラスが割れことがあります。扉ガラスに飛散防止フィルムを貼るほか、飛び出し防止器具、天井支えと足元の転倒防止板を設置すると防ぐことができます。



② 事前の備蓄

===== 常に持ち歩くものを決める =====

外出中に、急に一晩で過ごさなければならなくなってしまった場合、なければ困るもの想像してみましょう。



① 常にかばんに入れて持ち歩くものを決める

常に身近に持つべきもの(例)

項目	
水筒・ペットボトルの飲み物	マップ
チョコレートやアメなどのおやつ	携帯ラジオ
携帯電話・スマートフォン	ペンライトと乾電池
携帯電話などの充電式バッテリー	笛など音が鳴るもの
現金(公衆電話用に10円玉)	エマージェンシーブランケット
家族や貴重品の防災情報メモ	



===== 枕元に備えておくものを決める =====

寝ている場所から急いで自宅の外まで逃げる場合に必要なものを想像してみましょう。



① 就寝時、枕元に備えておく必需品を決める

枕元に備えておくべきもの(例)

項目	
スリッパなど底の厚い履物	笛など音が鳴るもの
携帯電話・スマートフォン	めがね
懐中電灯	補聴器



② 事前の備蓄

避難時に持ち出すものを準備する

非常持出袋は避難時の安全を確保するため、逃げるとき簡単に運べる重さを目標に、命を守るために必要なものだけを厳選して準備しましょう。



- ① 自宅から避難をするときに持ち出す貴重品を決める
- ② 非常持出袋に入れておくものを決める



- ① 持ち出す貴重品をポーチなどにまとめて、わかりやすい場所に保管する
- ② 非常持出袋をつくり、安全に持ち出せる場所か、避難経路上に置く

避難時に持ち出すべきもの(例)p.224につづく

項目		
貴重品	現金、小銭	家族の写真
	家族や貴重品の防災情報メモ	
避難用具	懐中電灯やヘッドライト・乾電池	ヘルメット
	携帯ラジオ 1台	防災頭巾
	軍手・手袋 1組	ロープ 5m以上
非常食	乾パンなどの食品	十徳ナイフ 1本
	飲料水 500ml×3本	缶切り
救急用具	救急セット (消毒液、ガーゼ、絆創膏、包帯など)	常備薬・持病薬
	マスク	お薬手帳

項目		
衛生用品	非常用トイレ・携帯トイレ	歯ブラシ
	トイレットペーパー	生理用品
	ウェットティッシュ	コンタクトレンズ・保存液
生活用品	レジャーシート	エマージェンシーブランケット
	ろうそく、ライター 1個	ポリ袋(レジ袋、ごみ袋含む)
	タオル	携帯電話などの乾電池式充電器
	ガムテープ	衣類
	油性マジック	レインコート
	筆記用具	底が厚く歩きやすい靴
	使い捨てカイロ	防寒具
	大判の布、毛布に代わるもの	
赤ちゃん用品	粉ミルク	紙おむつ
	哺乳瓶	母子手帳
	おやつ	おもちゃ・絵本
	離乳食	着替え
	スプーン	抱っこひも
	洗浄綿	おしりふき
	バスタオル	大判のハンカチ
高齢者用品	高齢者手帳	持病薬
	おむつ	予備のめがね
	着替え	看護用品
	補聴器	入れ歯・入れ歯容器
その他	ペットの防災用品	

② 事前の備蓄

在宅での避難生活に必要なものを備蓄する

ライフラインの機能停止や救援物資が届かない期間を想定し、7日程度過ごすために必要な備蓄品を準備しましょう。日頃から少し多めに用意しておく「ローリングストック」をうまく取り入れてみましょう。

【合わせて読もう!】

地震編第2章②日常生活の中で備蓄を行う(ローリングストック) pp.031-032



- ① 家族7日分の水の必要量を確認する
- ② ローリングストックを念頭に、災害発生後7日間の献立を考え、必要な食料の量を決める
- ③ 避難生活を過ごすうえで必要な物資を決める
- ④ ③のうち、食料以外でもローリングストックできるものを決める



- ① 必要な備蓄を用意し、わかりやすい場所に保管する

在宅での避難生活に必要なもの(例)p.226につづく

項目	
水・食料 【7日分】	飲食用の水(1人3ℓ×7日分)
	主食になるもの(無洗米、レトルトご飯、乾麺、即席麺など)
	缶詰(主菜、果物、小豆など)
	レトルト食品(主菜、スープ、味噌汁など)
	加熱せず食べられるもの(かまぼこ、チーズなど)
	お菓子(チョコレート、ビスケットなど)
	冷凍食品(主菜)
	調味料(しょうゆ、塩など)
	野菜ジュース
栄養補助食品、健康飲料粉末	

項目		
調理器具 など	カセット式コンロ	アルミホイル
	ガスボンベ(1本で約60分使用可能)	やかん
	固形燃料	皿(紙・ステンレス)
	点火棒、ライター	コップ(紙・ステンレス)
	鍋	わりばし
	ラップ	スプーン・フォーク
衣類	上着	ぐつ下
	下着	防寒具
生活用品	タオル	安全ピン
	バスタオル	ブルーシート
	毛布	懐中電灯
	雨具	手回し充電式などのラジオ
	予備の乾電池	非常用給水袋
	携帯電話などの乾電池式充電器	吸水土のう(浸水想定区域の場合)
	使い捨てカイロ	
衛生用品	非常用トイレ(1人3~6回×7日分)	使い捨てコンタクトレンズ
	歯ブラシ	救急箱
	石鹼	使い捨て手袋
	ドライシャンプー	生理用品
	ティッシュペーパー	消臭スプレー
	トイレットペーパー	吸水ポリマー
役に立つ もの	ポリ袋(ごみ袋、レジ袋、耐熱性ポリ袋)	新聞紙
	大判の布(ハンカチ、毛布など)	ラップ
	布ガムテープ	ウェットティッシュ
赤ちゃん 用品	スティックタイプの粉ミルク	紙おむつ
	離乳食7日分以上	ミルク
	おしりふき	
高齢者 用品	おかゆなど柔らかい食品7日分以上	補聴器用電池
	常備薬(処方薬)	入れ歯洗浄剤

③ 安否確認・避難

避難方法を身につける

いつどこで災害にあっても、あわてず安全な避難ができるよう、実際に体験し、ルールを決めておきましょう。

安全な避難場所への避難方法を決めておく



- ① 自宅周辺の安全な避難場所を調べる
- ② 災害ごとの避難場所の安全性を調べる
- ③ 安全な避難場所までの避難ルートを調べる
- ④ 通勤先や通学先などから自宅までの安全な避難ルートを調べる



最寄りの一時避難場所、広域避難場所を確認する pp.159-176



- ① 自宅から避難場所まで避難してみる
- ② 通勤先や通学先から自宅や自宅周辺の避難場所まで避難してみる
- ③ 地域やマンションの防災訓練に参加してみる



- ① 災害ごとに家族が集まる場所を決める



- ① 調べたこと、体験したこと、決めたことを記録する(避難検討マップなど)

避難検討マップ例



	地震のとき	津波のとき	洪水のとき
○○神社境内	○	×	×
○○公園	◎	×	×
○○小学校	○(学校にいる時)	○(学校にいる時)	○
○○ビル	×	○	×
○○団地	×	○(おばあちゃんと)	×

③ 安否確認・避難

連絡方法を身につける

停電や携帯電話の充電が切れても連絡先がわかるようメモを携帯しましょう。

互いの安否を確認するため



- ① 災害用伝言ダイヤル(171)、災害用伝言板(web171)を使ってみる
- ② 安否確認ができる防災アプリを使ってみる

災害用伝言ダイヤル・災害用伝言板の使い方
pp.199-200 ※毎月1日、15日に体験ができます。



- ① 災害用伝言ダイヤル(171)、災害用伝言板(web171)で使う電話番号
- ② 伝言を頼む遠隔地の連絡先の氏名・電話番号

通勤先、通学先、通院先などに安否の問合せをするために



- ① 通勤先、通学先、通院先や通勤途中で災害が起こったときの行動ルール
- ② 通勤先、通学先、通院先への非常時の安否確認方法
(情報提供・連絡用のウェブページやSNS、災害用伝言サービスの活用など)



- ① 家族の通勤先、通学先、通院先の名称と安否確認方法

自分や家族のメモをつくる

pp.227-229で体験したり決めたりしたことのうち、いつも身につけておくべき情報をまとめて、自分と家族の防災情報メモをつくりましょう。

自分や家族の防災情報メモ記載項目リスト(例)

		項目
携帯する情報	安否確認・連絡	災害用伝言ダイヤルを使う電話番号
		通勤先、通学先、通院先への安否確認方法
		遠隔地の連絡先の氏名・電話番号
	避難	地震時の集合場所や避難場所、避難ルート
	津波時の避難場所や避難ルート	
	洪水時の避難場所や避難ルート	
	からだ	血液型・アレルギー・持病・常備薬など
	かかりつけ医や介護担当者への連絡方法	
	保険等の記録	身分証明や保険などの番号
		クレジットや預貯金などの記録
		自動車登録番号・自転車防犯登録番号
	防災コミュニティ	頼れる人、相談する人との連絡方法
		地域団体などの連絡先、NPOなどの連絡先

④ マンション単位での備え

建物の防災力を知る

専門家にも相談して、耐震性や耐火性、避難の安全性などの特徴を住民全員で知っておきましょう。



- ① 耐震性、耐火性、避難の安全性など
建物の防災性能を調べる
- ② 停電や断水のリスクを調べる



- ① 耐震補強など、建物の防災性能の向上
- ② 電気室の浸水防止など、停電や断水のリスク対策

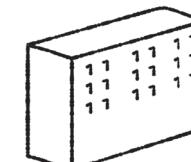
点検項目

項目	
耐震性	新しい耐震基準が設定された昭和56年以降の建物か 昭和56年以前の場合耐震診断を受けているか
	大阪市の防災力強化マンションの認定を受けているか
	地震に弱い建物の形状をしていないか
防火性	特定建築物、特定建築設備等の定期的な調査をしているか
避難の安全性	階段や廊下など避難ルートが安全か
	全ての住戸から2つ以上の避難ルートがあるか
	停電時に鍵が開けられるか
停電リスク	津波や洪水のときに電気室が浸水しないか
断水リスク	停電しても給水できるか
排水不能リスク	震災時に液状化などで下水が詰まる可能性はないか

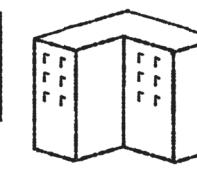
地震に弱い建物の形状

不整形あるいは下層階に壁の少ない建物の場合、構造的に弱い部分が損壊して住めなくなる可能性があります。以下のような形状のマンションは注意が必要です。

例えば



細長い



L字形、コの字形など



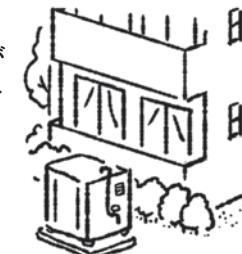
ピロティ形式



上部と下部で構造が異なる

給水方式ごとの停電時に想定される状況

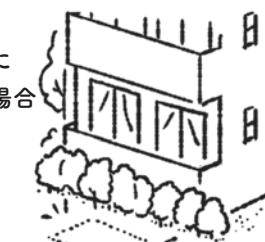
- ① 受水槽がある場合



停電すると断水する

受水槽に緊急災害用の採水口があれば
非常時に受水槽に貯まった水は利用できる

- ② 上水道に直結の場合



低層階は断水しない

低層階は水道本管からの水圧で水が出るが、
中高層階(3階程度以上)は断水する

- ③ 高置水槽がある場合



しばらくは水が出る

高置水槽内に残る水は利用できるが、
使い切ると断水する

水が出る!と思って、あわてて
お風呂などに水を貯めない
(飲み水として利用できなくなる)



④ マンション単位での備え

===== マンション防災計画を作成する =====

マンションの防災性能や居住者の特徴に応じた防災計画を考えましょう。

災害直後の安全確保計画



- ① SNSなど災害時の連絡方法を決める
- ② 災害直後の役割分担を決める

役割分担項目(例)

項目	
総務班	状況確認、意見集約、人員配置、一時避難場所の設営
情報班	居住者の安否などの情報収集・整理(SNSなどの活用) 災害時避難所・自主防災組織などとの連絡調整
救護班	要支援者・負傷者などの救護・避難誘導、応急救護場所設置運営
安全班	建物・設備の安全点検・安全確保、出入管理、防犯活動

災害後の生活維持計画



- ① 生活ルールや作業分担
- ② 共用スペースの設置場所など

役割分担項目(例)

項目	
生活ルール	共用施設・設備の利用、共同作業や作業分担
作業分担	物資運搬、備蓄物資管理、救援物資配布、出入管理、防犯活動
共用スペースの設置	ごみ集積場所、避難生活場所、高層階向けの物資保管庫

ライフライン復旧までの生活支援計画



- ① 生活支援が必要な人のリストをつくる
(要支援者・高層階住民・浸水被害住民)



- ① 生活支援の方法と役割分担を決める

生活支援項目(例)

項目	
生活維持	飲料水の確保、食料・食事の確保、日常用品の確保 し尿処理の対応、生活用水の確保
情報	情報収集・伝達手段の確保
環境維持	がれき・流入泥処理・廃棄物対応、夜間照明

④ マンション単位での備え

===== マンション防災計画を作成する =====

備蓄計画



- ① 共同備蓄の方針を決める
- ② 個人備蓄の不足に備えた予備の備蓄を計画する

備蓄項目(例)

項目	
情報	安否確認ステッカー・居住者名簿・掲示板・模造紙・トランシーバー・ハンドマイク・携帯ラジオ・パソコン・充電器
被害防止	吸水土のう・エレベーター閉じ込め対策キャビネット
救出・救護	消火器・ヘルメット・バール・ジャッキ・かけや(大型木づち)・ハンマー・のこぎり・ベンチ・ボルトクリッパー・ロープ・脚立・布担架・シャベル・救急箱・簡易ベッド・エアマット・AED・ヘッドランプ・予備電池
運搬	リヤカー・階段運搬機・ポリタンク・高層階向けの物資保管庫
ライフライン補完	ポータブル発電機・投光器・コードリール・ポンプ・かまどベンチ・カセット式コンロ・大鍋・大やかん・簡易トイレ・マンホールトイレ・予備燃料
個人備蓄予備	在宅避難に必要なもの

===== 防災訓練をする =====

マンションの防災計画をもとに防災訓練を行い、ふり返りを行って次の体験や訓練に活かし、防災計画に反映していきましょう。

避難訓練



- ① 自分たちでできることを考えて体験してみる
[持ち出し物資を持って避難階段を歩いて避難、要支援者の誘導など]
- ② 区役所や消防署と相談して体験してみる
[隔て板のサンプルを蹴破ってみる、煙中避難・暗中避難など]

消火・救出・応急救護訓練



- ① マンションの備蓄資材を使ってみる
[消火器による消火、ジャッキ・バールによる救出など]
- ② 区役所や消防署と相談して体験してみる
[屋内消火栓を使ってみる、応急救護(止血、骨折部固定)、救命処置(心肺蘇生法、AEDの使用)、簡易担架をつくってけが人を搬送など]

マンション防災訓練



- ① マンションの実情を調べてみる
[備蓄物資や資機材の状況、停電したらどうなるかを知るなど]
- ② マンションの防災計画に従って役割を体験する
[建物安全確認、居住者安否確認、けが人階段移送、一時的な避難場所設置、情報収集・記録・掲示、避難生活場所設置・炊き出し・運搬など]

④ マンション単位での備え

===== 防災訓練をする =====

災害対応図上訓練

災害対応の訓練のために様々な図上訓練(ゲーム)が開発されています。これを自分のマンションに合わせて改造して体験してみましょう。



① 平面図上で安全確保や避難生活運営を体験(HUG)

※HUG:建物や敷地の平面図などを使い、避難してきた人や起こる事態のカードを使って、対応を話し合いながら判断していくゲームで、災害対応を疑似体験する。

② 災害対応の二者択一判断を体験(クロスロードゲーム)

※クロスロードゲーム:災害のいろいろな場面で遭遇するYesかNoかの判断についてグループで話し合って疑似体験するゲームで、話し合うことにより実際に遭遇したときの判断の参考となる。

③ 災害への備えと対応を体験(防災すごろく)

※防災すごろく:事前に持ち物を選択しておき、起こる事態の場面ごとに持ち物を使って切り抜けるゲーム。

④ 情報判断と伝達を体験(情報伝達ゲーム)

※情報伝達ゲーム:マンションと災害時避難所などの立場に分かれ、起こる事態のカードや関係先からの連絡事項などを取捨選択し、必要な伝達指示を送り合うゲーム。

交流イベント

日ごろから祭りやバーベキューなど交流イベントが行われているマンションは、いざというときの協力がスムーズだといわれています。



① マンション独自の交流イベントを検討する

② 地域の交流イベントなどに参加する

資料編 第4章 【用語解説】



1 用語解説

p.241

① 用語解説

【A-Z】

AED(自動体外式除細動器)

心肺停止したときに、電気ショックを与えて心臓の正しいリズムを回復させる装置。

BCP(事業継続計画)

災害で被害を受けても、従業員や資産などの被害を最小限にとどめ、事業の早期再開や復旧が可能となるように災害時の対応を準備しておくこと。

LGBT

レズビアン(L)、ゲイ(G)、バイセクシュアル(B)、トランスジェンダー(T)の頭文字をとったセクシュアルマイノリティ(性的少数者)の総称。

SNS(ソーシャル・ネットワーキング・サービス)

X(エックス)やFacebook(フェイスブック)、LINE(ライン)など、登録された利用者同士が交流できるウェブサイトの会員制サービス。

【あ行】

一時避難場所

地震などが発生した場合の一時的な避難先で、公園や広場、学校の運動場など。

上町断層帯地震

豊中市から大阪市の直下を通って岸和田市まで続く長さ約42kmの上町断層帯が動くことで発生する地震。

【か行】

液状化

地震のゆれによって地盤が液体状になる現象。地盤上の建物が傾いたり、下水管などの地下埋設物が浮き上がりつたりする被害が発生する。

エコノミークラス症候群 ⇒p.080**応急危険度判定 ⇒pp.211-212****大阪市防災力強化マンション**

耐震性、耐火性のほか、被災時の生活維持のための設備整備や日常的な防災活動の実施など、防災力に優れたマンションとして大阪市が認定したマンション。

大津波警報

高い所で3mを超える津波が予測される場合に発表される津波に関する警報。

屋内消火栓

初期消火を目的に屋内に設置された消火栓。1号消火栓は2人以上で操作する必要があるが、易操作性1号消火栓、2号消火栓は1人で操作できる。

家屋倒壊等氾濫想定区域

堤防が決壊したときに、建物の倒壊や流失をもたらすような激しい氾濫流の発生が想定される区域。

感震ブレーカー

地震が発生した場合に設定値以上のゆれを感じると、ブレーカーやコンセントなどの電気を自動的に止める器具。

感染症

病原体の感染により発症する病気。災害時にはがれき撤去作業中のけがが原因の破傷風や、避難所でのインフルエンザ流行など、さまざまな感染症に用心が必要。

帰宅困難者

大規模な災害の発生により、公共交通機関が広範囲に運行停止し、当面復旧の見通しがない場合において、帰宅できない人のこと。

吸水土のう

土の代わりに、水を含むと膨張する吸水剤を利用した土のう。

吸水ポリマー

高い吸水能力を持つ素材。紙おむつや携帯トイレなどにも使用されており、自重の何百倍もの水を吸収できる。

局地的大雨

急に強く降り、数十分の短時間に狭い範囲に数十mm程度の雨量をもたらす雨。ゲリラ豪雨ともいう。

緊急地震速報

地震の発生直後に、強いゆれの到達時刻や震度を予想し、可能な限り素早く知らせる警報システム。

警戒レベル ⇒p.123**広域避難場所**

大規模な火災が発生した場合の避難先で、火災に対して安全な大きな公園など。

公衆無線LAN

無線LANを利用したインターネットサービスで、飲食店や交通機関などで多くの人が利用できるように用意されているもの。

【さ行】

災害時帰宅支援ステーション ⇒p.052**災害時避難所**

浸水や倒壊により自宅で生活できなくなった区民が避難生活を送る施設で、学校の体育館など。

災害ボランティアセンター ⇒p.090**災害用伝言ダイヤル ⇒p.199****災害用伝言板 ⇒p.200**

① 用語解説

在宅避難

災害時に住宅などに損傷がなく津波や火災の危険がない場合に、避難所などに避難せず自宅で生活すること。

自主防災組織

地域の防災を目的として自発的に活動する組織。おおむね小学校通学区域単位で、地域活動協議会や連合振興町会等を中心構成される。

地震火災

地震を原因として発生する火災。

集中豪雨

同じような場所で数時間にわたり強く降り、百mmから数百mmの雨量をもたらす雨。

浸水想定区域

想定される最大規模の水害が発生した場合に、浸水が想定される区域。

浸水防止パネル

建物や地下街の入口などに設置し、浸水を防止する装置。板状のものやシート状のものがある。

垂直避難 ⇒ p.121**水平避難** ⇒ p.121**生活不活発病** ⇒ p.095**【た行】****耐震基準**

建築物を設計するときに、地震に耐えることができる構造の能力を表す基準。

弾性ストッキング ⇒ p.080**直下型地震**

都市部などの直下で発生する地震。

通電火災 ⇒ p.058**津波火災** ⇒ p.026**津波避難ビル**

津波や洪水が発生した場合の緊急的な避難先で、堅固な高層建物の3階以上の階など。

電子錠

電気で開閉操作をする錠前。リモコン・カード方式のものや、暗証番号入力、指紋認証で解錠するものなど。

特定建築設備等

昇降機や特定建築物における建築設備や防火設備のこと。専門家による定期的な調査と行政への報告が義務づけられている。

特定建築物

多数の人が利用する施設など、法律で定められた特定の用途で利用される建物のこと。特定建築設備等と同じく定期的な調査と報告が義務づけられている。

【な行】**内水氾濫**

局地的大雨で、下水道や排水路の雨水処理が追いつかず、あふれた雨水によって市街地の建物や土地、道路などが浸水すること。

南海トラフ巨大地震

南海トラフを震源とする地震のうち、静岡県から宮崎県までの南海トラフ全域で同時に発生する最大級の地震。

【は行】**被災証明書** ⇒ pp.211-212**備蓄**

災害への備えとして食料や物資を蓄えておくこと。

避難行動要支援者

要配慮者（高齢者、障がい者、乳幼児、外国人など）のうち、自ら避難することが困難な人で、その避難を確保するために特に支援が必要な人。

避難情報 ⇒ p.123**福祉避難所** ⇒ p.184**ブレーカー**

一定量以上の電力を使用したり、異常電流が流れると回路を自動的に遮断する装置。

防災アプリ

スマートフォンなどで動作する防災に役立つアプリケーション。

防災スピーカー

区役所や小学校、防潮堤、広域避難場所に設置された屋外スピーカー。災害情報や避難勧告、避難指示が市役所から音声で通報される。

【ら行】**ライフライン**

電気、ガス、上下水道、電話、交通、通信など都市生活を支える設備。

罹災証明書 ⇒ pp.211-212

※「り災証明書」は火災により被害を受けた建物、物件のり災程度を消防署が証明するもの。

ローリングストック ⇒ p.031

